

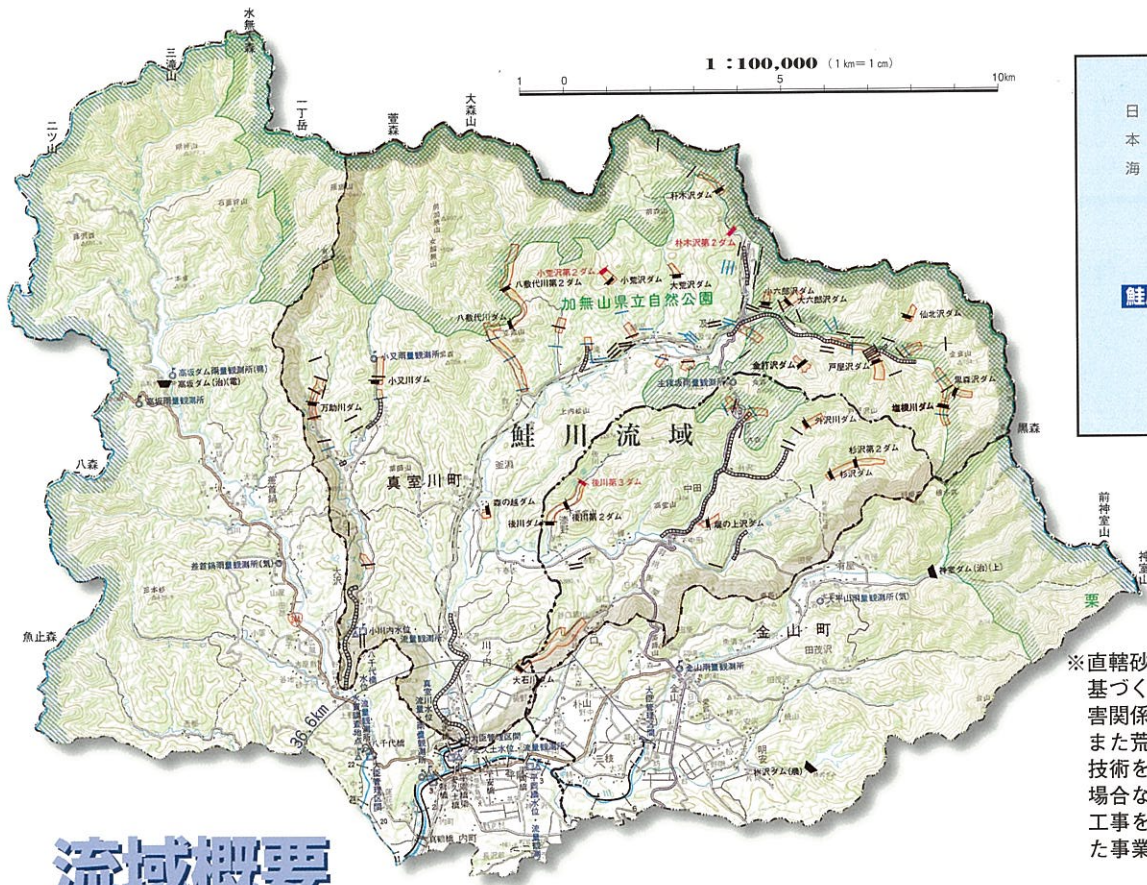


男薮山山頂付近の鳥帽子岩

水清き自然豊かなふるさと

鮭川

最上川水系 鮭川流域
砂防事業概要



※直轄砂防事業は、砂防法第六条に基づくもので、砂防地域または利害関係が複数の府県にわたる場合、また荒廃が著しく、工事に高度な技術を要し、事業費が大きくなる場合など、国土交通大臣自ら砂防工事を実施する必要があると認められた事業について実施しています。

流域概要

鮭川流域は、山形県の北東部に位置し、流域面積855km²を有する流域です。鮭川は山形・秋田両県境に位置する三滝山(986m)、水無大森山(911m)に源を発し、南流して新庄盆地を流れ、戸沢村で最上川に合流します。

対象流域である小又川、真室川流域は鮭川の左支川であり、真室川町及び金山町内に位置しています。真室川は黒森に源を発し、大小の溪流を合わせて流れる河川です。

流域は、真室川町と金山町の二町にまたがっており、区域内の約三分の一がスギの植林域になっています。鳥類は、イヌワシ、ヤマセミが生息し、魚類は、イワナ、カジカ、ヤマメ、アユ、ウグイなどが生息しています。地質は、砂岩、頁岩、泥岩、凝灰岩で構成され、地形は溪流沿いの崖浸食がはなはだしく、雨や雪も多く降るため、洪水時や融雪期には山地からの土砂を一挙に押し流し、土石流となり人々の生活を脅かす危険性のある溪流が多く分布しています。

直轄砂防施工区編入

本流域には、山形県において昭和21年頃より砂防事業が施工されたほか、治山事業として林野庁で31年より、山形県では42年よりそれぞれ谷止め工などが施工され、施設数は49年度まで10数カ所でした。

このような流域状況の処に昭和47年、49年、50年と災害が起き、昭和50年8月6日の豪雨では鮭川支川の小又川、真室川流域が大洪水となり、土石流及び流送土砂による人的被害、家屋、耕地等の被害も未曾有のものとなりました。災害を契機に、小又川、真室川流域では、山形県が50年度に着手し、52年度に12基の砂防ダムが完成しました。このような経過を経て、53年度より小又川及び真室川流域を直轄砂防事業施工区域に編入し、直轄事業着手となりました。





災害の履歴



■空から見た真室川及び流失した新橋(昭和50.8.6)

昭和
47
年

7月7～9日梅雨により差首鍋で303mmの豪雨が記録され負傷者1名、家屋半壊2戸、床上浸水20戸、床下浸水413戸の被害をもたらしました。

昭和
49
年

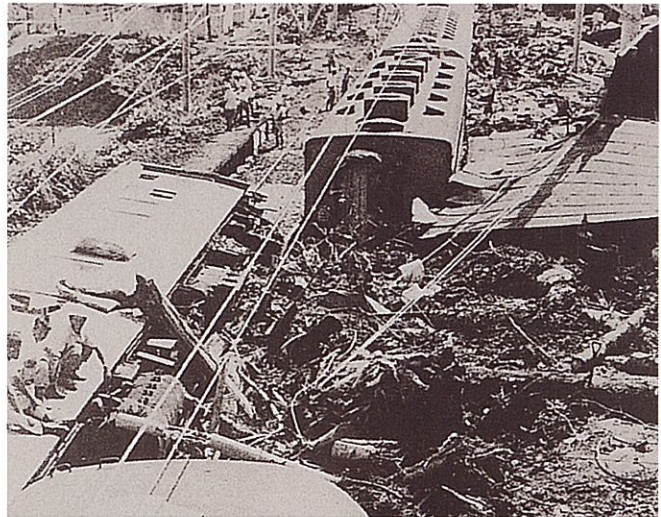
7月31～8月1日、差首鍋で140mmの雨をもたらした集中豪雨により、死者2名、家屋全壊6戸、半壊54戸、床上浸水695戸、床下浸水3,076戸の被害をもたらしました。

昭和
50
年

8月6日、寒冷前線の南下にともない最上地方は集中豪雨に見舞われ、連続雨量は392ミリに達し、死者5名、負傷者23名、家屋全壊48戸、半壊44戸、床上198戸、床下548戸、堤防決壊104箇所、道路決壊38箇所、橋梁流出12箇所と過去にない災害となりました。



■小又川が氾濫、橋が流される(下小又地区)(昭和50.8.6)



■大滝駅に臨時停車していた急行津軽2号に土石流が襲う(昭和50.8.6)



■小又川の氾濫(上小又地区)(昭和50.8.6)



■土砂崩れが発生した旧及位地区(昭和50.8.6)

土砂災害対策としてこんな事を行っています



土石流予警報装置

大きな被害を最小限に食い止めるためには事前に警戒し避難することが必要です。土石流等の土砂災害は降雨に大きく関係しており、その雨量状況から土石流



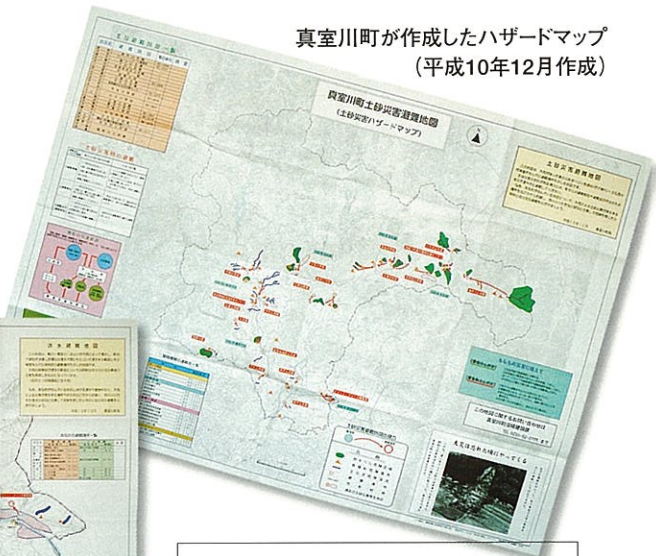
の発生を予知し避難することができます。東北地方整備局管内では新庄工事事務所が初めて真室川町の、中の股川右岸に設置しました。

自然の猛威は、多くの人命を危険にさらし、財産を奪い、社会的にも経済的にも想像を絶する混乱を招きます。災害の危険に対して、ハード面での治水・治山施設の整備と合わせて町民の防災意識を高めることで、トータルとしての災害による被害の軽減を目指すために「ハザードマップ」を作成したものです。

“もしも”の災害に備えて ハザードマップ 避難地図作成



真室川町が作成したハザードマップ
(平成10年12月作成)



洪水ハザードマップと土石流災害ハザードマップの両面刷りで、それぞれの緊急避難場所が明示されている避難地図。避難場所をカラーでわかりやすく図解している。

昭和50年に大雨による大災害を経験した真室川町では、8月6日を防災の日と定め、町民をあげて防災訓練を行うなど、防災意識の高揚に努めています。また、災害の教訓を置き去りにしないために、防災記念碑を建立して、町民に対する警鐘としています。





格子型鋼製ダム



ジャングルジム？ いいえ、これでも砂防ダム

格子型鋼製ダム全国第1号「小六郎沢ダム」

昭和50年8月の大洪水による災害をふまえて、激特事業*、鮭川砂防計画検討委員会等が設けられ、ダム工事が急ピッチに進みました。そんな中、小六郎沢ダムは、全国に先駆けて格子型鋼製砂防ダムとして誕生しました。

*激特事業（激甚災害特別対策事業）

- ◎一定規模以上の激甚な災害に対し、地域を指定して適用する。
- ◎一定の計画に基づいて、一定の期間内（3ヶ年程度）に事業を完成させる義務を有し、河川、砂防、地すべり等の各事業を総称して「激特事業」という。昭和51年度から実施。

多自然型ダム（間伐材使用）



環境景観に配慮した 砂防ダム「森の越ダム」

森の越ダムは、鮭川左支川、森の越沢に建設された土石流危険渓流対策のための砂防ダムです。ダム下流部は、家屋も多く、主要地方道からも見える位置にあり、住民の接触度が多いこと、かつ、ダム付近では自然を生かした散歩道が地元住民により計画されていることから、地域周辺の環境景観に配慮し、間伐材*を利用した工法により施工されました。

*間伐材（間伐によって生じる木材）

間伐とは、森林育成の課程で、密生した木や枝を切ってまばらにし、残した木の発育を促進する必要不可欠な作業で、その際に生じた木材を有効に利用する試みが、近年盛んに行われている。

魚道型スリットダム



魚にもやさしい 砂防ダム「金打沢ダム」



砂防ダム中央に設けられた溝（スリット）部分に魚道を設置し、魚の遡上を可能にしています。

渓流に造られる砂防ダムには、魚道が造られることはほとんどありませんでした。しかし、最近では「魚がのぼれる川づくり」を目指して、渓流のイワナやヤマメが、砂防ダムがあっても上り下りができるように、「魚道」をつけるようにしています。



男加無山の断崖(県立加無山公園)



白波をたてて流れる落合滝



龍馬山の断崖絶壁



三階滝の紅葉(県立加無山公園)

自然豊かな鮭川流域

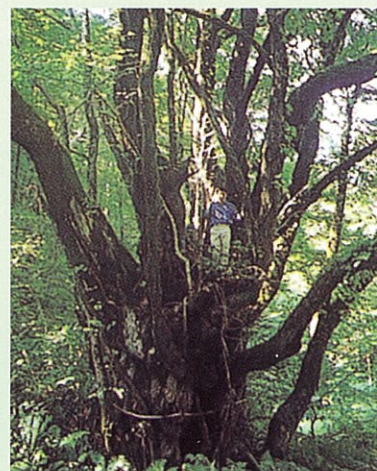




男甌山地蔵鞍の大カツラ / 日本一のカツラと推定されている
幹周20.2m・樹高30m・樹齢不詳・根約30m



滝の沢の一本杉 / 町指定天然記念物
幹周11.48m・樹高49m・樹齢300年以上



金山川の大カツラ / 日本有数巨大カツラ
幹周12.5m・樹高30m・樹齢不詳

加無山自然公園ブロック



鮭川流域
巨木の森



大美輪の大杉 / 128本の杉の巨木群



ヤマセシ



イヌワシと営巣地の親子

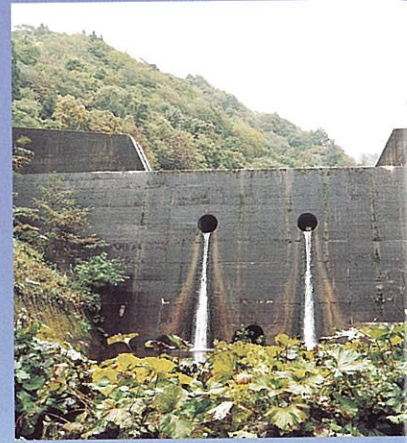


凡例	
	集落
	耕作地
	新道路の予定ルート

鮭川流域の砂防施設



②戸屋沢／戸屋沢ダム



③仙北沢／仙北沢ダム



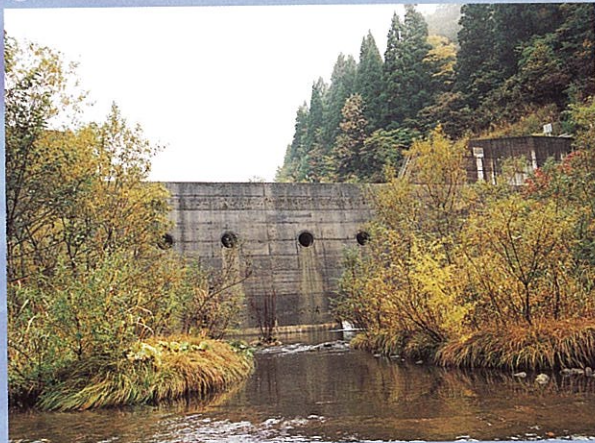
②小又川／小又川ダム



⑬八敷代川／八敷代川第2ダム



⑱朴木沢川／朴木沢川ダム



⑦堰の上沢／堰の上沢ダム





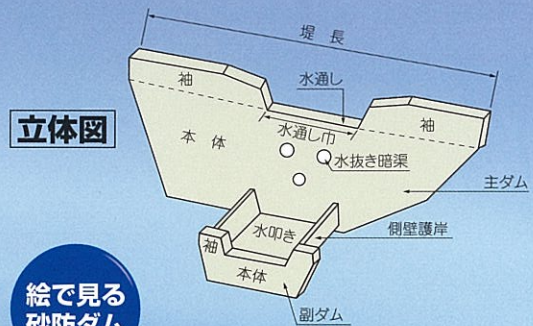
④黒森沢／黒森沢ダム



⑤後川／後川第2ダム

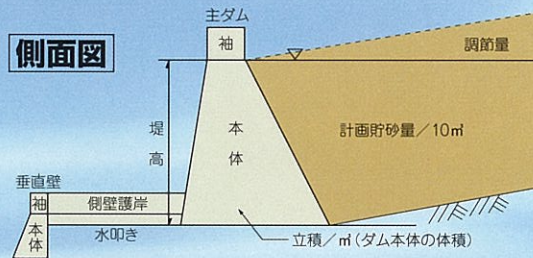


⑤塩根川／塩根川ダム



立体図

絵で見る砂防ダム



側面図

⑧外沢川／外沢川ダム



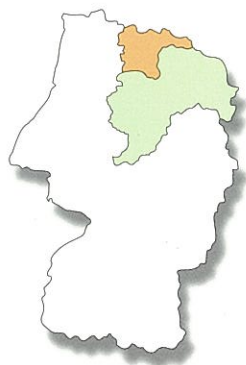
最上川水系鮭川流域 砂防施設一覧表

番号	渓流名	砂防施設名	堤高 (m)	堤長 (m)	立積 (m³)	計画貯砂量 (×10³m³)	工期	ダム型式	備考
1	万助川	万助川ダム	7.0	47.0	1,615	216.0	S53	重力式コンクリート	
2	小又川	小又川ダム	20.0	80.0	13,100	506.0	S53~S56	〃	
3	大石川	大石川ダム	12.0	48.0	3,392	103.0	S63~H2	〃	
4	後川	後川ダム	10.0	73.0	5,151	85.0	S56~S57	〃	
5	〃	後川第2ダム	16.0	112.0	12,260	314.0	H元~H7	〃	
6	〃	後川第3ダム	10.0	76.5	1,798	56.3	H11~	重力式コンクリートスリット+綱矢板セグメント	
7	堰の上沢	堰の上沢ダム	8.0	35.0	1,320	3.0	H6~H8	重力式コンクリート	
8	外沢川	外沢川ダム	17.0	63.0	10,008	106.5	S58~S61	〃	
9	中田春木川	杉沢ダム	16.0	150.0	12,400	202.0	S53~S56	〃	
10	〃	杉沢第2ダム	18.0	90.0	15,169	441.2	S62~H3	〃	
11	森の越沢	森の越ダム	5.5	33.0	740	2.0	H5~H6	〃	
12	八敷代川	八敷代川ダム	14.5	60.9	6,003	137.7	S58~S60	〃	
13	〃	八敷代川第2ダム	20.0	61.5	10,484	337.0	S63~H4	〃	
14	小荒沢	小荒沢ダム	20.0	78.5	14,088	154.0	S54~S58	〃	
15	〃	小荒沢第2ダム	12.5	62.0	2,900	59.2	H11~	重力式コンクリートスリット	
16	大荒沢	大荒沢ダム	14.5	84.5	12,048	65.4	S60~S62	〃	
17	朴木沢川	朴木沢第2ダム	12.0	136.5	8,819	86.3	H11~	重力式コンクリートスリット	
18	朴木沢川	朴木沢川ダム	17.0	127.0	13,394	353.0	S55~S60	重力式コンクリート	
19	小六郎沢	小六郎沢ダム	11.6	58.0	1,660	10.0	S54	鋼製格子型	
20	大六郎沢	大六郎沢ダム	20.0	84.2	13,676	253.0	S55~S58	重力式コンクリート	
21	金打沢	金打沢ダム	10.0	75.8	4,831	30.9	H4~H9	重力式コンクリートスリット	
22	戸屋沢	戸屋沢ダム	11.0	65.5	5,378	81.0	S59~S63	重力式コンクリート	床固工5基
23	仙北沢	仙北沢ダム	23.0	104.1	17,870	127.1	S61~H3	〃	
24	黒森沢	黒森沢ダム	14.5	118.0	14,013	135.7	S61~S63	〃	
25	塩根川	塩根川ダム	14.5	82.0	10,866	90.2	H5~H10	〃	

⑩中田春木川／杉沢第2ダム

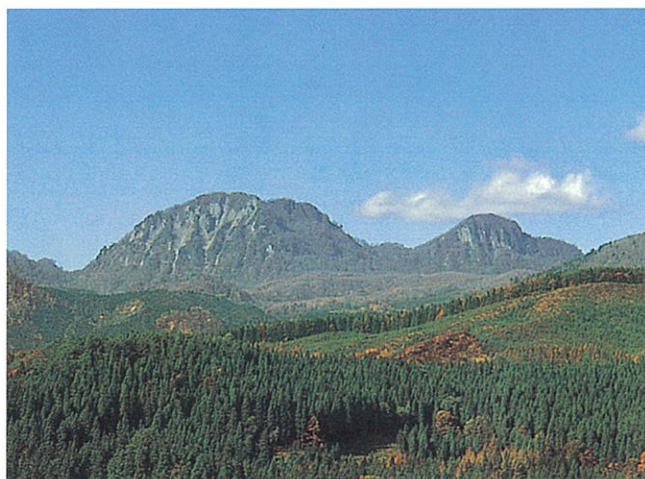


鮭川管内の紹介 I



真室川町 MAMUROGAWA

真室川町は山形県の最北端、秋田県境に位置し、神室山系を源流とする真室川と鳥海山麓から流れ下る鮭川の流域に展開する農林業の町です。緑豊かな自然と遙かな歴史のロマン漂う梅の里。「真室川音頭」によって、全国的に知名度の高い町です。



●伝説と共にたたずむ甕こし山(男甕・女甕)



●真室川春の風物詩「梅まつり」真室川公園の400本の梅が一斉に香ります



●毎年300羽以上の白鳥が飛来する野々村のため池(遠方は鳥海山)



●国指定重要文化財・五郎前遺跡出土の縄文晩期の完全土偶



●ふるさと伝承館(番楽・お囃子・わらべ歌等の伝承拠点)

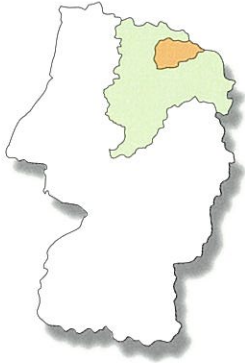
●歴史民族資料館
真室川町が生んだ世界的な版画家・中川木鈴のコーナーは必見



●宿泊施設もオープンして益々充実の温泉施設、グリーン・フォート梅里苑



鮭川管内の紹介 Ⅱ



金山町 KANEYAMA

金山杉の美林と全国に先駆けた情報公開の町。良質な金山杉を生産しています。杉と白壁の落ち着いた町並みが続く静かな町です。近年は、都会に住む人々を対象にした農村体験型のミニ・ツアーなど、独自の町おこし企画で全国的に注目されています。



●白壁が映える金山の町並み



●蔵史館はミニ・コンサートなど、多目的なイベントホール



●町の重要な資源となっている金山杉の美林



●250尾余の錦鯉が泳ぐ農業水路「大堰」は、町民の憩いの場



●金山杉の間伐材などを利用して、特産品の加工販売も盛んにおこなわれています。それぞれユニークなネーミングで個性を主張しています。

●金山町環境拠点となっている、グリーンバレー神室の全景（スキー場から撮影）と、その中心に位置するホテル・シェネスハイム金山。欧米風のリゾート感が味わえる施設で県外の利用客も増えています。





川辺の枝に止まるヤマセミ (今井正氏撮影)

Soft

ソフトな対策、柔らかな対応、柔軟な考え方

Service

奉仕の精神



あなたの心と子供に未来を伝える新庄工事

Surroundings

自然環境・社会環境及び周囲への配慮

国土交通省 東北地方整備局 新庄工事事務所

〒996-0071 山形県新庄市小田島町5-55 ☎(0233)22-0251

ホームページアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/shinjou>